

緑のボランティア通信

2017.4.1

No.49

29年度の主な事業紹介をします。

公益財団法人川崎市公園緑地協会は、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、市民による緑の活動の支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として、様々な事業を展開してまいります。「緑の推進支援課」の今年度の主な事業を紹介します。



*** 第13回わがまち花と緑のコンクール ***

市内の花と緑の優れた景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施します。応募の締め切りは4月12日(水)。市民による運営委員で現地調査や選考会を行い、6月24日(土) 中原市民館にて表彰式を行います。どなたでも参加できる表彰式では、全応募作品の展示、記念講演、花苗のプレゼントもあります。市内の素敵な景観を見ながら緑のまちづくりの交流を深めませんか。

*** 緑のボランティア育成事業 ***

川崎市の魅力ある「花と緑のまちづくり」を目的として、市施策の状況を広報し市民との協働によるパートナーシップ型事業を行います。

① かわさきの森づくり (里山ボランティア育成講座)

里山の自然環境や管理手法を学習し、市内の様々な緑地で実技研修を行います。川崎の里山に関心を持ち、実際に活動を始めたい人材を育成するとともに即戦力として緑地の整備に貢献します。講座は単位制となっており、都合のよい日程、希望の内容を選んで参加ください。

(各回とも9:30~12:00 小雨決行 参加費無料)

	日時	会場	作業内容
第1回	4月16日(日)	古沢都古緑地(麻生区)	春の孟宗竹林整備
第2回	4月21日(金)	早野梅ヶ谷特別緑地(麻生区)	春の孟宗竹林整備
第3回	5月27日(土)	菅馬場特別緑地(多摩区)	下草刈り
第4回	6月2日(金)	栗木山王山特別緑地(麻生区)	春の真竹林整備
第5回	7月2日(日)	菅小谷緑の保全地域(多摩区)	真竹林整備、丸太階段づくり
第6回	7月22日(土)	南野川特別緑地(宮前区)	里山整備、生き物探し
第7回	8月6日(日)	葉積緑地(麻生区)	シノダケ刈り、クラフト
第8回	9月24日(日)	井田長瀬緑地(中原区)	アオキ・シュロの除伐
第9回	10月15日(日)	高石特別緑地(麻生区)	クズ蔓の除去
第10回	11月19日(日)	黒川丸山特別緑地(麻生区)	シノダケ刈り
第11回	12月3日(日)	菅北浦緑地(多摩区)	緑道整備、下草刈り
第12回	30年1月27日(土)	岡上梨子ノ木特別緑地(麻生区)	コナラの伐採



●対象：15歳以上の関心ある市民、各回30人程度

●申込み方法：はがきに〒・住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス・希望日を明記し、公園緑地協会「かわさきの森づくり」係宛、送付してください。実施日前月1日から実施3日前まで先着順で受付けます。申し込まれた方に、実施場所の詳細等連絡します。



目次

29年度の主な事業紹介	1
29年度の主な事業紹介 / お知らせ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

② こども黄緑クラブ（こども自然体験教室）

川崎の公園や緑地を探検し、親子で楽しみながら四季の自然にふれあいます。春夏秋冬 年4回実施します。

春編 「ちいさな春、みつけた！春の草花あそびと虫さがし」

- 日 時：5月25日（木）10時半～11時半
- 会 場：王禅寺ふるさと公園
- 対 象：1歳以上の未就学児とその保護者
- 講 師：高柳芳恵さん（「ゆうぐれのさんぽ」福音館書店 著者）
- 締め切り：5月8日（月）必着



夏編 「セミの幼虫、みつけた！セミの羽化観察会」

- 日 時：8月2日（水）17時半～19時半
- 会 場：等々力緑地ふるさとの森
- 対 象：小・中学生とその保護者
- 講 師：佐々木洋さん（プロ・ナチュラリスト）
- 締め切り：7月12日（水）必着



- 申込み方法：往復はがきに〒・住所・氏名・学年（年齢）・電話番号・保護者氏名・希望日を明記し、公園緑地協会「こども黄緑クラブ」係宛、送付ください。定員を超えた場合は抽選となります。

③ 花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー育成講座）

市民による自主的な緑化推進活動の中心的人材育成を目的に講座を開催します。



- 日時・会場：9月14日（木）中原区役所、9月28日（木）中原区役所、10月12日（木）会館とどろき、11月9日（木）会館とどろき、12月14日（木）中原区役所、30年1月25日（木）中原区役所
午前10時から午後4時（昼休み1時間）。参加費無料。
- 対 象：全6回参加できる市内在住、在勤、在学。定員30名。
- 募集・内容：6月頃、各区役所に応募用紙を配布します。詳細は次号ボランティア通信に掲載します。

*** 緑のボランティア活動支援事業 ***

① 「緑の活動団体」助成事業

公開性の高い場所で植樹、花壇づくり等により緑化を行い、年間を通じて維持管理に取り組む団体や、下草刈り等の緑地保全活動を担う団体に情報提供や活動資金の一部助成等の支援を行います。

② 「花と緑の交流会」交流事業

公園編 6月20日（火）・21日（水）等々力緑地 ツツジの剪定

里山編 10月8日（日）多摩市民館 シンポジウム

花壇編 10月下旬 会場未定 デザインコンペ、他

お楽しみ編 30年2月10日（土）黒川野外活動センター 各種イベント

*その他 緑の活動の推進に役立つ情報提供や、カフェ形式での交流、パネル展示や散策等、核になる団体、グループと共に随時計画していきます。



③ 情報誌「緑のボランティア通信」の発行

緑のボランティアへの情報提供と連絡調整を図るとともに、広く市民に活動状況を知らせ、活動への新たな参加や新規登録団体を募ります。（年5回）

*** そ の 他 ***

緑の活動団体を対象にした鉢植え講習会、出前講座、道具や図書の一時的貸し出し、人材バンクへの登録と活用等に取り組めます。

お知らせ

◆ 川崎市環境局環境調整課から「グリーンウェイブ2017」に関する協力依頼です。

国連生物多様性の日（5月22日）を中心に植樹等を行う「グリーンウェイブ」の参加を募集します。3月1日から6月15日までの期間に植樹等の活動を予定している団体の方は、4月26日（水）までに情報をお寄せください。詳しくは電話（044-200-2387）まで、お問合せください。

エコガーデンはるひ野 (2013年設立)

活動場所 はるひ野駅南口 駅前花壇
活動案内 小田急多摩線「はるひ野駅」南口下車

川崎市の最西端に位置するはるひ野は10年前に開発された緑豊かな街です。三方を多摩市、稲城市、町田市に囲まれ、川崎市麻生区のチベット?とも言われています。当初、駅前には殺風景でしたが、4年前にエコガーデンはるひ野が発足し、花の好きなメンバーが色とりどりの花を咲かせ、駅前を行き交う人たちの目を楽しませるまでになりました。「エコガーデン」とした訳は、生ごみ堆肥を入れて土づくりをしているからです。はるひ野町内会環境部会のバックアップもあり、5年連続でダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化講習会が開催され、ごみの減量と地域の美化に貢献しています。この講習を受けて、少しずつ仲間が増え現在19名で構成されているメンバーは4グループに分かれて水やり担当や夏・冬花壇のデザインを担当し、切磋琢磨しながら楽しく活動しています。メンバーの努力や行政、町内会の協力支援もあり、最初12㎡だった花壇は徐々に広がり今年3月33㎡に拡張されました。又会員の一人が活動観察記録としてのブログを立ち上げました。



この講習を受けて、少しずつ仲間が増え現在19名で構成されているメンバーは4グループに分かれて水やり担当や夏・冬花壇のデザインを担当し、切磋琢磨しながら楽しく活動しています。メンバーの努力や行政、町内会の協力支援もあり、最初12㎡だった花壇は徐々に広がり今年3月33㎡に拡張されました。又会員の一人が活動観察記録としてのブログを立ち上げました。

<http://blog.goo.ne.jp/naoko2261211>
アクセスいただければと思います。(村山美香子)

川崎サイトシティ花とみどりの会 (2014年設立)

活動場所 川崎サイトシティ敷地内
活動案内 京浜急行、JR浜川崎線「八丁畷駅」下車

川崎サイトシティは八丁畷駅前に位置し、駅周辺には史跡もあるため、年間を通じ多くの方が来訪されます。駅前に広い公開空地がありますが、土壌環境が悪くツツジなどの植栽が年々衰退しています。2014年に居住者8名が集まり、少しでもみどりを復活させ、草花を育てていこうと、「花とみどりの会」を結成しました。植栽管理の支援会と花の少ない敷地に花を咲かせよう！とボランティアで活動しています。



「花とみどりの会」を結成しました。植栽管理の支援会と花の少ない敷地に花を咲かせよう！とボランティアで活動しています。

一画では枯死したサツキを整理し、空いた区画に花壇を作り、チューリップ、ヒマワリ、ピオラなど季節ごとに花を育てています。ただ、活動場所が広大で人数が必要な時があります。また併設の保育園の園児たちには、たね団子やチューリップの植え付けなどイベント活動を楽しんでもらっています。近隣にお住まいの皆様にも興味を持って頂いているようです。居住地内ではプランターでお花も育てており、こちらにも「花と緑のまちづくり講座」の経験を生かしています。

今後も、花とみどりの育成を通じて、皆様にも心の潤いを感じていただけるような空間作りを目標に、活動をしていきたいと思っています。(関沢千佳)

かつて川崎は『桃源郷』でした!そしてこれからも!!

明治期から昭和の初めくらいまでの川崎は、首都圏における重要な果樹や花卉の生産地であったことをご存じの方も多いのではないのでしょうか。あの「長十郎」で有名な“多摩川なし”や“禅寺丸柿”、さらには「伝十郎」という“多摩川桃”など、たくさんの果樹が生産されていたのでした。実は桃の節句に用いる「ハナモモ」は川崎の一部で、まだ生産されています。ぜひ、次の春には、「桃源郷」や「梅林」を観に行ってみませんか?

No. 51 有馬の桃園 = 花桃 (ハナモモ) の畑



▲有馬のハナモモ畑

ある花屋の「桃の節句」用のハナモモ▶

ここは桃源郷か、と思わずため息が……。この写真は昨年3月20日に撮ったものです。場所は宮前区東有馬2丁目の公道の脇の桃畑。

かつてはこの辺りではたくさん観られた景色だそうです。今でも住宅地に囲まれつつも、わずかに残された桃畑が観られます。



この桃は「有馬のハナモモ」として、桃の節句用に市場に出回っています。左は花屋で見かけたハナモモ(2月中旬)です。

有馬のハナモモ畑

住 所 宮前区東有馬 2-37 付近
交通案内 田園都市線「鷺沼駅」から
東急バス「東有馬第一団地前」
下車3分

No. 52 生田緑地の梅園 = 梅 (ウメ) の園

ここは生田緑地の「梅園」です。関東には有名な梅園が各所に観られますが、私たちの川崎市にも小規模ですが立派な梅園があります。下の看板にも在るように40品種以上の梅が植えられています。

あなたの家の近くにも、まだまだ桃源郷や梅園があるかもしれません。そこは狭くても小さくても、きっと心を豊かにしてくれる場所なのだと思います。さあ、あなたの桃源郷に会いに出かけてみませんか。



▲生田緑地の梅林 と、その花



◀梅林の品種名の看板

生田緑地

住 所 多摩区枡形7丁目
交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」下車徒歩13分

このコーナーでは、川崎市内の名木・珍木・希少木の情報を募集します。

あなたのご近所の地名の由来にもなった名木や巨樹、珍しい花が咲く木、変わった風景の木、調べてほしい不思議な木等々の情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介します。・・・執筆いただいている木珠(こだま)氏がこのコーナーのホームページを作りました。《<http://hitotokinoharuka.web.fc2.com>》「川崎のツリーウォッチング」で検索してみてください。